児童に見られるつまずき

　何倍という言葉と図を結び付けて立式することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　テープ図に自分の考えがわかるように数や言葉を書き込ませたり、テープ図を用いて説明させたりすることで、視覚的に数量関係を意識できるようにする。

指導事例集ｐ．８１

１　学年・単元名　　第３学年　わり算　わり算を使って（数量関係領域）

２　単元目標

　わり算の意味について理解し、それを用いることができる。

３　単元の内容

・等分除の分け方とわり算の式

・ブロックを用いない等分除の答えの求め方

・包含除の分け方とわり算の式、および答えの求め方

・九九を１回用いるわり算の計算の仕方

・わり算の問題づくり

**・何倍にあたる数を求める計算**

・わり算とたし算・ひき算を組み合わせた問題

・（何十）÷何で答えが九九にないわり算

・被除数が０のわり算

・（何十何）÷何で答えが九九になりわり算

４　本時の目標

　　何倍にあたるかを求め、テープ図にあらわしたり、関係図をかいたりして説明できる。

参考：ノート

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入  展開  まとめ | １　問題を読んで課題をつかむ  赤いロープは、青いロープの長さの何倍ですか。  　赤21ｍ　青3m  （予想される式）  　21÷３＝７    21-３＝18    21×３＝63  ２　テープ図にあらわして、式があっているか考える。  ３　適用問題を、式と関係図を用いて解き、ペアに説明する。  ４．　ふりかえり | ・何倍という言葉と図を結び付けて式を立てることができない児童がいる。  ・「倍」と「ちがい」を誤って考える児童がいる。  ・何倍という言葉から、わり算とかけ算が混同してしまう児童がいる。  **・赤いロープは青いロープの何倍になるのかを説明する際に、式だけでなく、テープ図を用いるように指示し、視覚的に数量関係を意識できるようにする。**  ・テープ図の21ｍの中に、3ｍがいくつあるのかが表すことができているか確認する。  **・テープ図に自分の考えがわかるように数や言葉を書き込ませる。**  ワークシート使用  参考：記入例  **・「何倍持ってますか」という言葉から、わり算がイメージできない児童には、関係図をもとにして、８×□＝２４の式を作らせて、□を求める計算だから、わり算を使って考えればいいということを気付かせる。**  （評価）  ・テープ図を用いて、21ｍが３ｍの７個分であることが理解できたか。  ・関係図を用いて、24枚が８枚の3倍にあたることが理解できたか。  ・ペアの活動で、なぜわり算になるか説明できたか。 |